

第 5 章

JPAN 感覚処理・行為機能検査 Short Version (S-JPAN)

JPAN の欠点の一つとして、すべての検査を実施するには多くの時間を要することがあげられる。発達検査において short version や short form を開発することは多く、DN-CAS 認知評価システム、日本版ミラー幼児発達スクリーニング検査 (JMAP) でも開発されている。S-JPAN は、対象児にさらに詳しい感覚統合検査が必要か否かを判断する目的で開発された。S-JPAN は感度 90.8%、特異度 96.0%であり、スクリーニング検査として有用であることが示されている。

1. S-JPAN の施行法

S-JPAN は、JPAN の検査の中から感覚統合障害の判別性に優れた検査を抽出している。検査実施法、採点法は JPAN に準ずる。

2. S-JPAN の検査

S-JPAN は姿勢・平衡機能 2 検査、体性感覚 1 検査、視知覚・目と手の協調 1 検査、行為機能 4 検査の計 8 検査から構成されている。

A-7 ひこうき パート 2

C-6 クレーンゲーム

A-11 お宝さがし

A-12 ぶたさんの顔 利き手誤数

A-9 かっこよくなねしよう

A-10 おととと

B-4 仲良くおひっこし パート 2 クロスひっこし

C-5 けがして大変

3. 検査実施法

8 検査をマニュアルの手順に従い施行する。施行順序は自由である。

4. 採点方法

① 8 検査の%タイル値の算出

採点方法は解析ソフトによりそれぞれの検査の%タイル値を算出するところまでは、通常の採点方法と同様である。対象児の 8 つの検査のスコアを入力し、計算実行をクリックする。すべての検査のスコアが入っていないため、「すべての検査項目に値を入力しなければ、判定値はできません」と表示されるが、そのまま「OK」をクリックし、8 つの下位検査の%タイル値の結果を算出する。

② 算出したそれぞれの検査の%タイル値を以下の基準で 1-5 の数値に置き換える。

赤	(0-5%タイル)	1
オレンジ	(6-16%タイル)	2
黄	(17-25%タイル)	3
黄緑	(26-50%タイル)	4
緑	(51%タイル以上)	5

③以下の数式に、②で置き換えたそれぞれの検査の数値を入れ計算する。

$$21.36 + (-0.57 \times \text{ひこうき パート2}) + (-0.61 \times \text{クレーンゲーム}) + (-0.73 \times \text{お宝さがし}) \\ + (-0.90 \times \text{ぶたさんの顔 利き手誤数}) + (-0.65 \times \text{かっこよくまねしよう}) + (-0.64 \times \text{おととと}) \\ + (-0.77 \times \text{仲良くおひっこし パート2 クロスひっこし}) + (-1.15 \times \text{けがして大変})$$

例：

	検査結果	数値変換	計算	
				21.36
ひこうき	黄	3	× (-0.57) =	- 1.71
クレーンゲーム	黄	3	× (-0.61) =	- 1.83
お宝さがし	黄緑	4	× (-0.73) =	- 2.92
ぶたさんの顔	オレンジ	2	× (-0.90) =	- 1.80
かっこよくまねしよう	赤	1	× (-0.65) =	- 0.65
おととと	緑	5	× (-0.64) =	- 3.20
仲良くおひっこし	黄	3	× (-0.77) =	- 2.31
けがして大変	黄	3	× (-1.15) =	- 3.45
合計する				3.49

5. 判定方法

4. ③で計算された数値が 0.55 以上の場合、詳細な感覚統合検査が必要な可能性が高い。上記の例の場合結果が 3.49 になったので、この子どもは、さらに詳しい感覚統合検査が必要な可能性が高い。

6. 注意事項

S-JPAN はスクリーニング検査である。そのため、治療につなげるには、他の検査も実施し、対象児の感覚統合障害をより詳細に分析しなければならない。

7. その他

S-JPAN の解析ソフトは JPAN 購入者に限りパシフィックサプライの HP からダウンロードできる。

詳細については以下の文献を参考にすること

加藤寿宏 他：JPAN 感覚処理・行為機能検査 -Short Version- の開発. 感覚統合研究 15,25-32,2015